



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒木 陽一 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	55,331	0.4	957	△46.0	1,189	△45.8	746	△33.9
24年3月期第3四半期	55,137	△3.1	1,774	△43.9	2,195	△35.9	1,128	△53.3
(注) 包括利益	25年3月期第3四半期 1,358百万円 (893.5%)		24年3月期第3四半期 136百万円 (△92.0%)					

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	7.11	—
24年3月期第3四半期	10.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	92,260	51,492	55.8
24年3月期	92,002	50,638	55.0
(参考) 自己資本	25年3月期第3四半期 51,446百万円	24年3月期 50,593百万円	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	2.50	5.50
25年3月期	—	2.50	—		
25年3月期(予想)				3.00	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,500	0.8	200	△86.6	700	△65.9	500	△48.7	4.76

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、[添付資料] 3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	111,452,494株	24年3月期	111,452,494株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,436,322株	24年3月期	6,425,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	105,024,009株	24年3月期3Q	105,033,025株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速を背景とした輸出の減少を主因として2012年春をピークに後退局面入りしていましたが、引き続き輸出の低迷から貿易収支は赤字が続き、個人消費も自動車販売台数の伸びの鈍化やマインドの悪化等から弱含んでいます。

このような中、当社グループでは日本山村硝子株式会社創業100周年となる2014年に向けた4ヵ年の中期経営計画の3年目に入りました。この中期経営計画において「世界のYAMAMURAへ一心と技術を伝えたい」のビジョンのもと、「パッケージング事業の再編と国際化」「ニューガラス事業の多角化」「新規事業とR&Dの推進」「グループコーポレート機能の強化」「人材基盤の確立」の具体的展開に取り組んでおります。

事業セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ① ガラスびん関連事業

業界出荷量は前年同期比96.1%と減少し続けている中、当社出荷量も同様に前年同期比で減少していますが、海外向けの機械設備の売上伸張によりセグメント売上高は28,771百万円(前年同期比1.0%増)の微増となりました。しかし、減価償却費・労務費・修繕費等の減少はあったものの、原燃料価格・電気料金(関東地区)の高騰等により、セグメント利益は94百万円(前年同期比83.6%減)と大きく減益となりました。

#### ② プラスチック容器関連事業

当社プラスチックカンパニーにおいてペットボトルの出荷量は増加しましたが、飲料用キャップの出荷量は当第3四半期連結会計期間に入り低調に推移しました。展誠(蘇州)塑料製品有限公司を当連結会計年度から連結子会社としたことにより、セグメント売上高は8,649百万円(前年同期比4.1%増)と増収となりました。一方、減価償却費の減少や連結子会社が増えたことによる増益効果はあったものの、電気料金(関東地区)の値上げ等によるコストアップや前連結会計年度第1四半期において震災の影響による損失を特別損失に振り替えていたこともあり、セグメント利益は476百万円(前年同期比34.7%減)と減益となりました。

#### ③ 物流関連事業

新規業務の受注により、セグメント売上高は8,591百万円(前年同期比2.4%増)と増収となりました。しかし、新規受注案件の初期立上げ費用の負担や、既存顧客の単価ダウンや労務費等のコストアップ等により、セグメント利益は250百万円(前年同期比18.9%減)と減益となりました。

#### ④ ニューガラス関連事業

国内家電メーカーの不調に伴い、当社ニューガラスカンパニーの主力製品であるプラズマテレビ用粉末ガラスや太陽電池部材用粉末ガラスの出荷量は、依然として低調に推移しています。山村フォトニクス株式会社の売上高は微増であったものの、セグメント売上高は2,907百万円(前年同期比18.5%減)と大きく減収となりました。外注費・労務費・減価償却費の削減に努めましたが、売上高減少をカバーしきれず、また山村フォトニクス株式会社の収支の改善も遅れ、セグメント利益は△127百万円(前年同期は14百万円のセグメント利益)の損失となりました。

#### ⑤ その他事業

当社エンジニアリングカンパニーは増収となったものの、セグメント売上高は6,411百万円(前年同期比0.3%増)の微増にとどまりました。しかし、他の子会社の業績改善が寄与し、セグメント利益は150百万円(前年同期比126.8%増)と大幅な増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は55,331百万円(前年同期比0.4%増)とわずかに前年を上回りましたが、連結営業利益は957百万円(前年同期比46.0%減)と減益となりました。

さらに、第2四半期連結会計期間に海外の持分法適用関連会社の遊休資産の減損処理(171百万円)もあり、持分法による投資利益は400百万円(前年同期比25.2%減)と減少しました。それらの結果、連結経常利益は1,189百万円(前年同期比45.8%減)、連結四半期純利益は746百万円(前年同期比33.9%減)と減益となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期における通期の業績予想につきましては、平成24年11月5日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は17百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は18百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,752	8,439
受取手形及び売掛金	19,617	21,721
商品及び製品	6,746	6,543
仕掛品	439	478
原材料及び貯蔵品	2,041	2,392
その他	1,805	749
貸倒引当金	△45	△9
流動資産合計	41,357	40,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,499	10,362
機械装置及び運搬具（純額）	7,079	6,520
工具、器具及び備品（純額）	672	697
土地	11,319	11,319
建設仮勘定	391	1,074
有形固定資産合計	29,962	29,974
無形固定資産		
投資その他の資産	350	315
投資有価証券	2,821	2,967
関係会社株式	14,213	15,962
その他	3,355	2,771
貸倒引当金	△57	△46
投資その他の資産合計	20,332	21,655
固定資産合計	50,644	51,944
資産合計	92,002	92,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,354	7,299
短期借入金	6,212	6,714
未払法人税等	238	148
引当金	639	284
その他	2,807	2,912
流動負債合計	17,252	17,359
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	15,030	14,030
退職給付引当金	3,098	3,060
特別修繕引当金	4,442	4,763
その他	541	554
固定負債合計	24,112	23,408
負債合計	41,364	40,767
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	25,958	26,205
自己株式	△1,219	△1,221
株主資本合計	56,113	56,358
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	318
繰延ヘッジ損益	35	1
為替換算調整勘定	△5,775	△5,232
その他の包括利益累計額合計	△5,520	△4,912
少数株主持分	44	46
純資産合計	50,638	51,492
負債純資産合計	92,002	92,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	55,137	55,331
売上原価	44,826	45,737
売上総利益	10,310	9,593
販売費及び一般管理費	8,536	8,636
営業利益	1,774	957
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	67	55
持分法による投資利益	535	400
その他	259	209
営業外収益合計	867	669
営業外費用		
支払利息	258	251
租税公課	96	94
その他	90	92
営業外費用合計	446	438
経常利益	2,195	1,189
特別損失		
災害による損失	136	—
固定資産廃棄損	62	22
固定資産売却損	—	3
支払補償金	34	—
特別損失合計	234	25
税金等調整前四半期純利益	1,961	1,164
法人税、住民税及び事業税	489	355
過年度法人税等	△120	—
法人税等調整額	459	58
法人税等合計	828	413
少数株主損益調整前四半期純利益	1,132	750
少数株主利益	4	4
四半期純利益	1,128	746



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,132	750
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	98
繰延ヘッジ損益	△44	△33
為替換算調整勘定	—	△76
持分法適用会社に対する持分相当額	△957	619
その他の包括利益合計	△996	607
四半期包括利益	136	1,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133	1,354
少数株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,473	8,311	8,392	3,566	48,744	6,392	55,137	—	55,137
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,334	1,000	9,024	5	12,364	573	12,938	△12,938	—
計	30,807	9,311	17,416	3,572	61,109	6,966	68,075	△12,938	55,137
セグメント利益	573	730	308	14	1,627	66	1,693	80	1,774

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額80百万円には、セグメント間取引消去96百万円、営業外損益調整等△15百万円が含まれております。営業外損益調整は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	ガラス びん関 連事業	プラス チック 容器関 連事業	物流関 連事業	ニュー ガラス 関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	28,771	8,649	8,591	2,907	48,920	6,411	55,331	—	55,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,205	1,105	9,088	5	12,404	476	12,880	△12,880	—
計	30,977	9,754	17,680	2,912	61,324	6,887	68,212	△12,880	55,331
セグメント利益 又は損失(△)	94	476	250	△127	693	150	844	113	957

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社エンジニアリング事業や子会社の一部を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額113百万円には、セグメント間取引消去100百万円、営業外損益調整等13百万円が含まれております。営業外損益調整は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。